宝満神社のお田植え祭り

【所　在　地】熊毛郡南種子町茎永（宝満神社赤米お田植え祭り保存会）
【種　　別】県指定無形民俗文化財
【指定年月日】平成 11 年３月 19 日

御田（イチニウ）でのお田植風景

舟田でのお田植の舞

宝満神社は，古くから赤米を神米として，その栽培を通して連帯や社会秩序の維持と神仏や自然に対する畏敬の念を育み，守り伝えてきた。この神社のお田植祭は赤米の祭を伴って行われる。

宝満神社の北側約 300m の所にお田の森，オセマチ（赤米を栽培する田），お田（稲庭），舟田（舟の形をした田），御畑（直会の場所）がある。

お田植祭りは・苗取りの儀・苗取り（苗取り拍子を歌う）・お田の森の祭事（降神の儀，お苗授けの儀，昇神の儀）・オセマチで赤米のお田植え（お田植え歌を歌う）・周辺のお田でのお田植え（お田植え歌を伴う）・舟田でのお田植えの舞い（お田植え歌を伴う）・直会・マブリ（社人が役員および氏子総代等を慰労する儀式）の順に行われる。

お田植えの祭りの古い形をよく残している。

保存会を中心に毎年４月初めに茎永の区民，氏子によって継承されている。

昭和 45（1970）年 11 月に「種子島宝満神社のお田植え祭」として，記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財に国により選択された。